



没後40年 寺山修司の「質問」を問い直す

# 寺山修司 国際シンポジウム in ウィスコンシン大学マディソン校

日時（現地時間）：1日目 2023年11月3日（金）15：30～17：30  
2日目 2023年11月4日（土）9：30～16：30 + 懇親会（対面のみ）  
場所：アメリカ ウィスコンシン大学マディソン校  
開催方法：対面 + オンライン（Zoom）（詳しい会場は下記までお問い合わせください。）  
言語：日本語（英語同時通訳予定）※通訳は付かない可能性もあります。

※どなたでも無料で参加いただけます。オンラインでの参加ご希望の方は、氏名、ご所属とともに下記までメールにてご連絡ください。開催前日までにURLをご送付します。開催は現地時間ですので、日本では深夜の開催になります。その他、お問合せも下記までご連絡ください。

horie.hidefumi [at] shizuoka.ac.jp（シンポジウム事務局宛） [at] を@に変換してご送付ください。

## 1 日目 15：30～16：30

上映会 + 解説 石原康臣（美術家）

「映像往復書簡 -寺山修司と谷川俊太郎- から -萩原朔美と吉増剛造-へ」

## 16：30～17：30

特別対談 山形健次郎

×

スティーヴン・リジリー

（さっぽろ寺山修司資料館代表）

（ウィスコンシン大学マディソン校）

## 2 日目

### ・研究発表 10：00～12：00 司会 葉名尻竜一（立正大学）、スティーヴン・リジリー

小菅麻起子（寺山修司研究家）「ビジネスダイアリーから寺山修司著作年譜へ」

ジョナサン・E・アベル「死のリミックス：寺山×谷川『ビデオレター』における身体の感情、沈黙の詩学」

久保陽子（富山高等専門学校）「寺山修司の少女向け作品と日本の少女文化」

サーリネン・カイサ（作家・独立系研究者）「ずたずた挽きし花カナナ：寺山修司の短歌を連作として翻訳する」

### ・基調報告 14：00～14：40 スティーヴン・リジリー「寺山修司と数学」

### ・シンポジウム 14：40～16：30 司会 葉名尻竜一

登壇者：久慈きみ代（青森大学名誉教授）、ミリヤム・サス、堀江秀史（静岡大学）、スティーヴン・リジリー

題目：葉名尻「「質問」する短歌」／堀江「寺山修司と昭和、あるいはアメリカ」／

久慈「あなたは、どこから来たの？ 新出毛皮のマリー天井敷公演台本の考察」／サス「寺山修司とメディア感覚」

### ■共同主催

科学研究費助成（代表：葉名尻竜一）基盤研究（C）20K00301

「寺山修司記念館所蔵資料の基礎研究にもとづく地方文学館利活用の新開発」  
アメリカ・ウィスコンシン大学マディソン校東アジア研究センター

### ■後援 三沢市寺山修司記念館・さっぽろ寺山修司資料館

